［真岡市］

～多彩な魅力を集約し、「いちご日本一」で市のイメージの統一化を進める

個性豊かな県内各市町をご紹介するこのページ。
今回は、真岡市の登場です。

▲真岡鐵道のSL

コットベリーちゃん　もおかぴょん

県南東部に位置する真岡市。SLの走る街、真岡木綿などの伝統工芸が息づく街、二宮尊徳所縁の地と、さまざまな魅力・観光資源をもつ真岡市ですが、その多彩さゆえ、逆に市のイメージが拡散・希薄化するのではないかとの懸念もありました。

そこで市は現在、「いちご日本一」を核に市のイメージの絞込みとブランド力向上の情報発信を行っています。従来も、市のゆるキャラには木綿（コットン）といちご（ストロベリー）のハーフである「コットベリーちゃん」、いちご柄のパンツをはいた「もおかぴょん」を採用するなど、真岡市のPRにはいちごが活かされてきました。現在はこれを一歩進め、市内の施設の愛称に「いちご」の呼称を取り入れたり「全国いちごサミット」の開催を企画するなど、市の内外に向けて「いちご日本一」をアピールしています。

「真岡の一万本桜まつり」

ソメイヨシノや枝垂れ桜、河津桜、八重桜など、随所にさまざまな桜が咲き誇る真岡市。毎年桜の季節には「一万本桜まつり」が開催されます。まつりは桜の名所ごとに行われ、期間中は無料の周遊バスを運行したり、市内の飲食店で期間限定の桜＆いちごグルメが提供されます。満開の桜と菜の花の中を走るSLはこの時期ならではの景観で、一見の価値ありです。

北真岡地域ふれあい桜まつり

- ➡桜町陣屋桜まつり（3月24日～4月14日）
- ➡根本山桜まつり（3月31日～4月14日）
- ➡桜町千本桜まつり（3月23日～4月10日）
- ➡北真岡地域ふれあい桜まつり（3月23日～4月10日）など

桜まつり合同イベント（4月7日）
北真岡地域ふれあい桜まつり、桜町陣屋桜まつり、桜町千本桜まつり、行屋川桜まつり、天の織姫市、着物DEまちあるき など

「生産量・販売額日本一」のいちごの街

冬の日照量が多く昼夜の寒暖差が大きい真岡市は、いちご栽培に最適。主要品種の「とちおとめ」や大粒の「スカイベリー」、夏に収穫の「なつおとめ」など年間生産量は約7,111トンに達し、日本一のいちご生産量・販売額を誇ります。また、生産者がいちごの品質や栽培状況を競う「いちご王国グランプリ」では、最高賞の大賞を6回受賞しており、質・量ともに「日本一のいちごのまち」です。こうした実績を背景に、市は地域ブランド確立の柱にいちごをすえ、来春の「全国いちごサミット」の開催に向けて準備を進めています。

2020年3月に「全国いちごサミットinもおか」を開催

全国のいちご関係者が一堂に会し、いちごの未来を考える祭典を来年3月14日・15日に開催。農業関係者向けの講演、先進技術紹介や視察、また一般消費者向けのいちご関連イベントを市内数か所で同時開催します。シンボルマーク策定やPRパーソンである「もおかいちごチアリーダー」を任命するなど、準備が進んでいます。

いちごサミットのシンボルマーク

いちごグルメ

夢みるいちごのダックワーズ

真岡市の新しい顔が、いちごを活かしたグルメ。いちごを使ったジェラートやケーキ、シュークリームのほか、変り種ではいちご飯のカレーライスやチャーハン、イチゴラーメンも話題です。昨年末には日比谷ミッドタウンの人気フレンチレストラン「モルソー」の秋元シェフの協力で新スイーツ「夢みるいちごのダックワーズ」が完成。市内の飲食店が独自のアレンジを加えたダックワーズを提供することでブームを巻き起こすべく、期待されています。

●井頭エリア

井頭公園は「日本の都市公園100選」にも選定された公園で、園内には自然植物園や花ちょう遊館、一万人プールなどがあります。近くには井頭温泉「いちごの湯」や農産物販売交流施設「あぐ里っ娘」、観光いちご園もあり、家族で楽しく過ごせるエリアです。

◀井頭公園

一万人プール▼

◀いちごの湯

▼農産物直売所「あぐ里っ娘」

●いちごSLワールド

下館～茂木間の41.9kmを結ぶ真岡鐵道は第三セクターの鉄道会社。毎週末や祝日のSLの運行で有名です。本社のある真岡駅は大正期の9600形SLを模した駅舎で、SLの展示を行うSLキューロク館や観光情報を提供する情報センターなどの関連施設とともにいちごSLワールドと呼ばれます。

▲真岡鐵道駅舎

◀SLキューロク館全景

●さだじろう記念館

明治・大正期の久保家の居宅や石蔵をリノベーション、観光・文化交流の拠点として平成26年にオープンした施設。施設内の観光物産館では真岡のお土産が揃います。

◀観光文化交流館

●真岡木綿会館・もめん茶屋

真岡木綿の生産工程の展示や、機織り・染色の体験コースのある施設。4月下旬にリニューアルオープンし、木綿製品等の販売も行われます。平成29年にはいちごスイーツ等を賞味できるもめん茶屋がオープンしました。

▲木綿会館

▲もめん茶屋

●岡部記念館「金鈴荘」

明治期に呉服店で財を成した岡部家の別荘だった邸宅で、回遊式日本庭園や磯山石の石塀で有名。戦後は割烹料理店・金鈴荘として利用されていましたが、現在は岡部記念館として公開されています。

●大前神社

1500年有余の歴史を誇る古社。安土桃山時代築造の本殿のほか、「日本一えびす様」でも有名です。昨年末に本殿・幣殿、拝殿が国の重要文化財に指定されました。

日本一えびす様▶

●道の駅にのみや

年間30万人が訪れる、県内2番目に開設された道の駅。いちご等の農産物の販売のほか、県内のいちご情報を紹介し、ガラス温室では8種のいちごを栽培・展示しています。

▲いちご情報館と温室

●総合運動公園

各種遊具を備えた子ども広場や弓道場・テニスコート等のスポーツ施設など、年齢を選ばず楽しく体を動かせる施設。

▲子ども広場

真岡市の見どころ

●二宮尊徳資料館

江戸時代末期、荒廃した野州桜町一帯の復興に従事した二宮尊徳の遺品や史料を展示。二宮尊徳が住んだ建物（桜町陣屋）も保存されています。

▲二宮尊徳資料館

▲桜町陣屋跡

●門前地区

古くは門前町として、大正～昭和には花街として栄えた通りは、戦後の一時期活況を失い、シャッター街となっていました。最近は個性豊かなお店が集まり、若者が詰めかけるお洒落なストリートとして再生。さまざまなイベントで賑わいます。

profile

●真岡市

昭和29年、真岡町・山前村・大内村・中村の合併により誕生した真岡市。平成21年の二宮町編入で、現在の市域が完成しました。市名の読みは「もおか」。歴史的には旧仮名で「マヲカ」と表記したり、JRの駅名で「もうか」の呼称が使われた時代もありましたが、現在、行政的には「もおか（Moka）」に統一されました。産業面では日本一のいちご栽培のほか、農業・工業・商業がバランスよく発展しています。

- ▶面　積：167.34平方km
- ▶人　口：80,843人（31,172世帯）

〔平成31年3月1日現在〕